

報道機関各位

ソニックウォール・ジャパン株式会社

## SonicWall、Wi-Fi 6 対応の超高速アクセスポイントでネットワークの性能を向上

Wi-Fi 6 規格に対応する新しい SonicWave 600 シリーズのワイヤレスアクセスポイントが、極めて複雑な環境でも常時オン、常時セキュアの接続を提供

カリフォルニア州ミルピタス(米国時間 2022 年 8 月 25 日配信のプレスリリース抄訳)–世界で最も引用の多いランサムウェア脅威インテリジェンスを提供する SonicWall は本日、複雑なマルチデバイス環境で常時オン、常時セキュアの接続を提供する新しい Wi-Fi 6 対応のワイヤレスセキュリティ製品群を発表しました。Wi-Fi 6 規格に対応した新しい SonicWave 600 シリーズのワイヤレスアクセスポイントと [Wireless Network Manager\(WNM\) 4.0](#) の組み合わせにより、企業は自動的にワイヤレストラフィックのセキュリティを確保すると同時に、性能を高め、接続を簡素化することができます。

SonicWall の社長兼 CEO であるボブ・ヴァン・カークは次のように述べています。「ハイパーコネクテッド時代を迎え、あらゆる規模の企業が、簡単に導入でき、信頼性とセキュリティに優れた高性能ワイヤレスネットワークを必要としています。SonicWave 600 シリーズは、複雑なビジネス環境に対応するセキュアで管理の容易なワイヤレス接続により、SonicWall の世界中のパートナーや戦略的なマネージドセキュリティサービスプロバイダー(MSSP)による企業顧客の保護をサポートします」

[SonicWall Wireless Network Manager\(WNM\) 4.0](#) により、企業、パートナー、MSSP は、簡単かつ有効にワイヤレスネットワークのセキュリティを管理できます。WNM は、画面 1 枚に統一されたクラウド管理ポータルで複雑な環境の管理を簡素化します。

SonicWave 600 シリーズは、ワイヤレススループット全体を Wi-Fi 5 の最大 4 倍に高め、レイテンシを最大 75%短縮することができる Wi-Fi 6 規格を使用します。このほか SonicWave 600 シリーズは、セキュリティ、管理、導入の容易性、拡張性のニーズに対応する主要機能を備えています：

- ・ ワイヤレススループットを最大 4 倍に向上。Wi-Fi 6 (802.11ax) 規格の卓越した性能が、スループット、レイテンシ、総所有コスト (TCO) を改善します。
- ・ 高密度ネットワークで超高速ワイヤレス接続。Wi-Fi 6 規格に対応する SonicWave 600 シリーズは、ワイヤレスネットワークの過密によって生じる問題を軽減し、変化の激しい環境でもトップスピードを確保します。
- ・ 高度なサイバー攻撃対策。業界賞を受賞した SonicWall Capture Advanced Threat Protection (ATP) サンドボックスサービス、特許取得済みの Real-Time Deep Memory Inspection (RTDMI)、Reassembly-Free Deep Packet Inspection を統合したワイヤレスアクセスポイントにより、接続の信頼性を高め、高度なサイバー攻撃をブロックします。
- ・ 脅威の検出と削除。ディープパケットインスペクション (DPI) テクノロジーによってネットワークを出入りするすべてのワイヤレストラフィックをスキャンし、マルウェアや侵入など、SSL/TLS で暗号化された接続を介したものも含めて有害な脅威を除去します。
- ・ ダウンタイムを短縮。接続の切断や中断によるビジネスへの影響を防ぎ、分散型ネットワークに対応する常時オンのセキュア接続で収益チャネルを保護します。
- ・ 最適化された IoT 環境の構築を実現。高密度のマルチデバイス環境を接続する高性能ネットワークの設計と拡張を可能にします。
- ・ 継続的なアップグレード。完全な後方互換性を備えた最新の技術に (マイペースかつ予算内で) 環境をアップグレードすることにより、一貫性を維持したまま性能とセキュリティを向上します。

Berean Baptist Church & Academy の最高情報責任者 (CIO) であるパム・メセックス氏は次のように述べています。「SonicWall は長年、当キャンパスのセキュリティ維持に役立つソリューションを提供してくれています。教育環境にはセキュアかつオープンでなければならないという課題があります。学生はさまざまなリソースに簡単にアクセスし、スタッフはデータのセキュリティを守り、個人情報を守らなければなりません。SonicWave ワイヤレスアクセスポイントをネットワークに追加することでそれが実現しました。特にキャンパスのワイヤレス化に伴い、クライアントの隔離によるネットワークの分離とセキュリティ、使いやすさ、性能の向上など多くの機能を利用しています」

新しい SonicWave 600 シリーズを含め、すべての SonicWave アクセスポイントはクラウドベースの Wireless Network Manager 4.0 を統合しているため、あらゆる規模や地域のネットワーク



におけるワイヤレス、ワイヤレスアクセスの制御とトラブルシューティングを 1 枚の画面で実行できます。

MSSP を念頭に置いて設計された Wireless Network Manager のインフラは、複数のテナント、場所、領域をまとめ、何千もの SonicWave アクセスポイントと SonicWall ネットワークスイッチをサポートすることにより、複雑なオーバーレイ管理システムなしで、アクセス、制御、トラブルシューティングを簡素化します。

SonicWall のプロダクト担当副社長であるジャヤント・タクレは次のように述べています。「脅威情勢の変化は非常に速く、レガシーソリューションでは対応できません。最新製品ではワイヤレスネットワークの性能向上とリアルタイムの脅威対策に重点を置きました。企業やそのエンドユーザーは、ネットワークの種類や物理的な場所に関係なく高いリアルタイムセキュリティ、性能、分析を期待しています」

SonicWave 600 シリーズの最新製品として 2022 年末には SonicWave 621 の発売が予定されています。

SonicWave 600 シリーズの詳細は、[sonicwall.com/wireless](https://sonicwall.com/wireless) をご覧ください。

### SonicWall について

SonicWall は、Boundless Cybersecurity を提供することにより、誰もがリモート／モバイルで危険にさらされながら仕事をするという超分散化時代のビジネスの現実に対処します。SonicWall はシームレスな防御を提供し、非常に巧妙なサイバー攻撃を阻止します。これによって、無限に存在する脆弱性ポイントすべてを保護し、リモート勤務やモバイル化、クラウド利用を活発に進める人員を守り、ひいてはビジネスのニューノーマルに対応すべくモバイル化を進める組織のセキュリティを確保します。未知の領域を探求し、リアルタイムの可視性を提供しながら経済の大躍進を実現している SonicWall は、サイバーセキュリティ業務上の課題を解決して世界中の企業や政府、中小企業をサポートします。詳細については、<https://www.sonicwall.com/ja-jp/> をご覧いただくか、[Twitter](#)、[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#) で当社をフォローしてください。

### 報道関係者様からのお問い合わせ先

ソニックウォール・ジャパン株式会社 PR 担当

[Japan\\_SNWL@SonicWall.com](mailto:Japan_SNWL@SonicWall.com)